

大島小太郎（おおしまこたろう）

～実業家「唐津銀行・九州鉄道・唐津鉄道・筑肥線・唐津電灯会社・唐津港開港」～

大島小太郎 安政6年（1859）～昭和22年（1947）

幕末唐津藩の財政を一手に引き受けた大島興義の長男。

藩英語学校「耐恒寮」第一期生の一人で高橋是清の薫陶を受け上京、中村敬宇の二松学舎で学ぶ。

若くして故郷唐津に帰り、明治18年地元経済界の指導者として佐賀銀行の前身である唐津銀行を創立した。また、唐津と佐賀・博多・伊万里を結ぶ鉄道（現在のJR唐津線・筑肥線）や道路の敷設、市街地の電化、唐津港の整備など、地域産業の振興と郷土の近代化に大きな足跡を残した。

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



大島小太郎



創立当時の唐津銀行本店

（佐賀銀行百年史より）



旧唐津銀行本店



大島邸

（宮島醤油HPより）

◎引用・参考文献（出典）

- ◆宮島醤油HP
- ◆『佐賀が生んだ幕末・明治の500人』（福岡博/編 佐賀新聞社）

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html